

広域情報コーナー

催し・展示

◆陶史の森まつり 5日午前9時～正午、土岐市肥田町肥田の陶史の森で。

木工教室や、羊毛を使ったマスコット作り、葉っぱを使ったしおり作りのほか、森を散策する昆虫教室や自然遊びなどを開催する。

駐車場は同森内の雲五川せせらぎ公園大駐車場を利用する。小雨決行、雨天時は6日に順延。問い合わせは同実行委員会、電話0572(54)1111。

◆ワークショップ「甘茶づくり」 6日午前10時から、揖斐川町春日美束の春日森の文化博物館で。

同博物館主催。春日地区の

住民を講師に招き、同地区で長年伝わる方法で甘茶作りに取り組む。

要予約。参加費は無料だが、入館料110円が必要。申し込み、問い合わせは同博物館、電話0585(58)3111。

◆ユニセフ講演会とパネル展 講演会は13日午後1～3時、パネル展は11～17日、いずれも岐阜市司町、みんなの森きふメディアコスモスで。県ユニセフ協会設立15周年記念事業として同協会が開催。講演会の第1部は「子どもの権利の話しよう」をテーマに県内の小中学生や大学生、教員、自治体職員が発表。第2部は、アフリカや中南米など国内外で取材する報道写真家の渋谷敦志さんが講演。

パネル展は紛争などで命の危険に直面している子どもたちの現状を紹介。渋谷さんの写真も展示する。

講演会は参加無料、定員200人で事前申し込みが必要。問い合わせ、申し込みは同協会、電話058(379)1781。

◆みのかも定住自立圏講演会 14日午後3時から、白川町役場で。

美濃加茂市と加茂郡7町村で進めるみのかも定住自立圏事業の一環。講師は同自立圏構想共生ビジョン懇談会委員の古里圭史さん。飛騨信用組合で電子地域通貨「さるぼほコイン」を手がけ、現在は地域のコミュニティがにぎわい続ける仕組みづくりに取り組む会社リトルパークの代表取締役。



伯正貴岡町長、藤井浩人同市長が議論を深める。

同市公式YouTubeチャンネルで生配信する。視聴はQRコードから。

◆松波総合病院の昭和100年展 30日まで、笠松町下本町の町歴史未来館で。

昭和100年に合わせ、新聞記事で開業からの歴史をたどる。入場無料。月、火曜休館、祝日の場合は翌日休館。問い合わせは同館、電話058(388)0161。

◆笠松イラストアート展 30日まで、笠松町田代の松波総合病院南館で。

羽島郡2町を拠点に活動するイラストアート委員会が、2町をモチーフに描いたアート作品を展示する。入場無料。問い合わせは同病院広報課、電話058(388)0111。